

令和5年度 2月号



ふようだより

台東区立富士幼稚園
園長 足立 祐子
台東区浅草 4-48-18
電話 3874-2460
fuji-yo@city.taito.tokyo.jp



「おにはそと！ ふくはうち！」

園長 足立 祐子

いよいよ2月。まだまだ寒い日が続きますが、暦の上ではもう春ですね。2月3日は節分ですが、「節分」とは本来、季節の移り変わる時の意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指していたそうです。その中で、特に立春が1年の初めと考えられることから、次第に春の節分を「節分」と指すようになってきた様です。立春を新年と考えれば節分は大晦日に当たるので、前年の邪気を祓うという意味を込めた行事として「豆まき」をするようになったということです。

幼稚園で「豆まき」をする中で、5歳児には自分自身を客観的に見つめ、弱い部分や直したいことについて考えられるような指導もしていきます。少し難しい様ですが、例年、「怒りんぼ鬼をやっつけたい。」「泣き虫鬼をやっつける！」「片づけが苦手だから、汚い鬼やっつけようかな…。」などという声が聞かれます。普段おうちの方から指摘されていることや自分で「苦手」と思っていることを自覚し、「変えよう」という気持ちがしっかり育っているのですね。自分の良い面や弱い面は、形になって見ることはできません。「考えてみよう」「見つけてみよう」と働きかけることで、見えてくるものだと思います。是非この機会に家庭でも、自分なりの課題を見つけていく話し合いをしてみてはいかがでしょうか。4歳児、3歳児は、鬼に関心をもったり豆まきに使うものを作ったりしながら、「節分」という季節の行事そのものを年齢に応じて体験していきます。

